

## 「命のパン」

ヨハネによる福音書 6:34-35

2023年11月26日  
野村 友美 師

<収穫感謝礼拝について>

今日は収穫感謝礼拝の日です。

今から400年以上前、1620年の11月に、イギリスからアメリカ大陸のプリマスというところに、102人の人たちが海を渡って行って住み始めました。この人たちは、キリスト教の中のピューリタンというグループの人たちでした。

イギリスでは国の教会、イングランド国教会のグループに入っている人たちがほとんどでしたので、他のキリスト教のグループの人たちはとても不自由だったそうです。

だから、自分たちのグループがもっと自由に礼拝したり生活したりできる新しい土地に住みたい。そう思って、このピューリタンの人たちは、アメリカ大陸に向かったんです。当時はまだ飛行機はありませんでしたから、彼らはメイフラワー号という船に乗って、2ヶ月以上かけてアメリカを目指しました。それは決して楽な船旅ではなかったでしょう。少ない食料をみんなで分け合って、船の中で病気が流行ったりもしたそうです。

しかも、苦勞してやっとたどり着いた当時のアメリカは、今みたいいろいろな人たちがいる大きくて豊かな国ではありませんでした。ところどころ

に先住民、昔はインディアンとも呼ばれていた人たちが住んでいるぐらいで、もちろんお店や病院なんかもありません。だから、大変な思いをして辿り着いたその日から、彼らは自分たちの住む家を作ったり、食べるものを育て始めないといけませんでした。彼らがプリマスに着いた最初の冬はとても厳しくて、食べ物なくて、寒くて、半分ぐらいの人が春になる前に亡くなってしまったんだそうです。そんな中、近くに住んでいた先住民の人たちが、このよその国から来たピューリタンたちに、とても親切にしてくれました。

寒いところでも丈夫に育つトウモロコシや小麦やエンドウ豆の種を分けてくれて、育て方も教えてくれました。おかげで次の秋にはたくさんの食べ物が獲れて、2回目の冬を過ごすための十分な準備ができたんです。自分たちを生かしてくれる豊かな収穫を見て、人々は「神様、ありがとうございます！」と祈って感謝を捧げました。

そして、種を分けてくれて育て方まで教えてくれた先住民の人たちを招いて、喜びのパーティーを開いたそうです。この出来事を記念して、それから240年ぐらい経ってからですが、アメリカ合衆国のリンカーン大統領が収穫感謝の祝日を決めました。

その頃、アメリカ合衆国は北と南に分かれて戦争をしていたんですが、その戦争が終わって、遠くに離れていた家族や親せきがまた一緒に集まってお祝いできるように、この祝日を作ったという

話です。収穫感謝のお祝いでは、七面鳥の丸焼きや、美味しいソースがかかったマッシュポテトや、サツマイモ料理や、アップルパイやカボチャのパイを作って家族みんなで食べるんだそうです。

もちろん、食事の前には「神様、あなたが植物や動物を大きく育てて、私たちに食べ物を与えてくださっていることを感謝します！」とお祈りしてから。

アメリカだけじゃなくて世界中で、毎年11月の4回目の日曜日には、こうやって教会で収穫感謝の日をお祝いしています。

ただ、こうやって神様に「食べ物をありがとうございます！と感謝するようになったのは、この何百年だけのことじゃありません。日本でも、他の国でも、農業をしている国は大体みんな収穫を感謝してお祝いするお祭りを昔からやっています。

旧約聖書の時代のイスラエルでも、麦やぶどうやオリーブの収穫をお祝いするお祭りがずっと行われていました。「食べ物をありがとうございます！」と神様に感謝することは、人間にとってとても大事なこととして、ずっと昔から続いているんです。

#### <私たちを生かすパン>

それは、食べる物が私たちにとって、とても大切なものの1つだからです。私たちの体は私たちが食べたもので出来ている、と言ってもいいで

しょう。たんぱく質とかビタミンもしっかり取らなきゃだし、食物繊維も必要だし、緑黄色野菜は体にいいから1日1回は食べたいし、コーヒーも飲まなきゃ。なんて、体に必要な栄養はいろいろありますが、何といてもまず主食、ご飯とかパンとか麺とかジャガイモとかは欠かせません。

主食になる食べ物は、私たちの体を作って、その体を動かすためのエネルギーを生み出すものです。私たちの体と、その体を動かす力のもとになる主食。イエス様は今日の聖書の言葉で、ご自分をこの主食にたとえておられます。

「わたしが命のパンである」と。

イエス様が生きておられた古代の中東地域では、主食は麦で作るパンでした。もしお米が主食の地域にイエス様がおられたら、今日の言葉はもしかしたら、「わたしは命のおにぎりである」になっていたかもしれませんね。

命のパンである、と言われたこの前の日、イエス様は5つのパンと2ひきの魚で5千人以上の人たちにお腹いっぱい食べさせる、という不思議な出来事を起こしておられました。イエス様がなさったその奇跡を見て、「こんなに不思議で素晴らしいことができるなんて、きっとこの人こそ神様が約束しておられた王様、救い主に違いない！さあ、イエスに私たちの新しい王様になってもらおう！」と思った人たちが、イエス様を連れて行こうとしていたんです。それに気がついたイエス様は、みんなに知られないようにこっそりと、

弟子たちと一緒にガリラヤ湖の向こう岸へ行かれました。それでもイエス様を探して、たくさんの人たちが舟に乗って一生懸命追いかけてきたんです。追いかけてきた人たちは、イエス様にこんな要求をしました。あなたが本当に神様から遣わされてきた人で、私たちの救い主なんだったら、それがはっきりわかるように証拠を見せてくださいよ！神様が遣わされたあのモーセは、荒野でマンナと呼ばれるパンを毎日、私たちの先祖に食べさせたじゃないですか。

モーセはその昔、イスラエルの人たちがエジプトで奴隷として扱われていた時代に、神様から選ばれてエジプト脱出のリーダーになった人です。

神様はモーセを導いて、人々をエジプトから救い出して、自分たちの国を作れる場所まで、彼らに荒野を旅させました。

荒野は文字どおりの荒れた土地ですから、生きるために食べ物を手に入れるのだって大変です。

だから神様は毎日、天からパンのような食べ物を降らせて食べさせた、と旧約聖書の出エジプト記は伝えています。

あの時のモーセみたいに、あなたもリーダーらしく私たちを導いて、満足させてください。

あなたが本当に神様から遣わされた人なんだたら、私たちが生きるために必要なものを与えてみせてくださいよ、とこの人たちはイエス様に言っているんです。

そんな彼らに、イエス様はこうお答えになりま

した。モーセがパンを降らせて、食べさせたんじゃない。神様が天からパンを与えて、先祖たちに食べさせたんだ。他の誰でもない、わたしの父である神様こそが、あなたたちに本当の命を与えるパンをくださるんだよ。

このイエス様の答えを聞いて、彼らはますます「間違いはない、やっぱりこの人が、神様から遣わされた王様だ。私たちのリーダーになってくれる救い主だ」と思ったみたいです。

彼らはイエス様に迫りました。イエス様、主よ、あなたを救い主だって認めますから、私たちを生かす命のパンをください！

私たちに必要なものを、あなたがいつも神様から受け取って、私たちに与えてください。

そう願う人たちに、イエス様は不思議なことをおっしゃいました。

わたしが、あなたたちの命のパンだ。わたしのもとに来る人は決して飢えることがないし、わたしを信じる人は決して渴くことがない。

#### <イエス様が命のパン>

大事な主食のパンみたいに、人が生きるために必要なもの。あなたたちを形作って、あなたたちに生きる力を与える命のパン。それはわたしだ、とイエス様は言われます。

イエス様が何かを神様から受け取って、私たちに手渡すというんじゃなくて。イエス様の存在そのものが、私たちを本当に生かすためのパン、

神様から私たちへの贈り物なんだ、とここでイエス様は言っておられるんです。

美味しくて栄養たっぷりのパンをお腹いっぱい食べたって、時間が経ったらまたお腹は空きますよね。もう飲めないって思うぐらい水を飲んでも、しばらくしたらまた喉は渴きます。

同じように、どんなに感動的な出来事を体験しても、時間が経ったら私たちの感動はだんだん薄れていきます。その時はものすごく嬉しくて満足して、「この気持ちを絶対に忘れないぞ！」と

思っていたって、時間が経つといつの間にか、不満とか寂しさの方が大きくなっていたりもするでしょう。私たちの体と同じで、私たちの心だって、生きている限り変化して、毎日エネルギーを使っています。だから、他の何かや誰かでどんなに心を満たしたとしても、いつも補給し続けないと、だんだん飢えて渴いてしまうんです。

でも、イエス様を私たちの「命のパン」として受け取るならもう大丈夫だ、とイエス様は約束しておられます。

神様の独り子が人間としてお生れになって、神様の愛を伝えて、私たちの罪を身代わりに背負って死んで、私たちに永遠の命を与えるためによみがえられた。

このことを、神様からの愛の贈り物と信じて受け入れるなら。イエス様は私たちを絶対に飢えたり渴いたりさせない「命のパン」であり続けてくださるんです。

私たちが泣くときも笑うときも、イエス様の存在が私たちに神様からの愛を教えて、慰めて、満たしてくださいます。先がどうなるかわからない人生の不安を、一人一人に注がれている神様からの愛で照らして、希望で満たしてくださいます。必ずやってくる地上での命の終わり、誰も勝てない死の力にも、復活されたイエス様が代わりに勝ってくださいました。

この体の命を超えて、神様の国で生きる永遠の命の約束が、イエス様を信じるすべての人に与えられているんです。

私たちに命を与えて、生きる力で満たし続ける、神様からのパン。

イエス様はいつだって、私たちみんなに差し出されている「命のパン」です。

この命のパンを受け取る条件はたった一つ、イエス様を信じて神様からの愛を受け入れることだけです。他には何の条件もありません。

受け取る資格がない人なんか誰もいません。

だから今日も、私たち一人一人に差し出されている命のパンを受け取りましょう。

イエス様を私たちに与えてくださった神様の愛に信頼して、いつでもどこでもどんな時でも、神様がなさることに期待していきましょう。

神様からの愛と恵みで私たちを満たして、生かしてくださる命のパン、イエス様と一緒にこの先も一步一步、人生の旅を続けて行きましょう。お祈りいたします。